1984年（昭和59年）創刊
よりよい地域をめざす、高崎市を中心とした情報誌

ちいきしんぶん 7.18

2025（令和7）No.1441

■発行所／ライフケア群栄（株）高崎市小八木町312-15ビジネスパーク小八木 TEL027（370）2262 FAX027（370）2263
ちいきしんぶんは、旧高崎市内の約9割のご家庭や事業所のポストに無料で投函させていただいています。新規お届けもしくはご不要等、配布に関する件は上記までご連絡下さい。

http://monya-dc.com ➡ まずはHPでご来院下さい。
■歯科・小児歯科■
●院　長／紋谷 光徳
●診療時間／AM9:00～PM1:00
PM2:15～PM6:00
（土曜日はPM5:30）
●休 診 日／日曜日、祝日、木曜日
☎027-344-8241
高崎市下小塙町878-4
（高経大北、北部小前）
もんや歯科クリニック

榛名湖 花火大会

2025 8.1 FRI 開催

湖に咲く水中花火、山に響く音

高崎の夏の風物詩、榛名湖花火大会は8月1日20時から開かれる。湖上のモーターボートから投げ込まれる水中花火と、打ち上げ花火の共演が見どころだ。湖面に映る光と、山にこだまする音が一体となり、臨場感たっぷり。標高1000m超える清涼感の中、個性的な花火を楽しもう。

水中花火の原点

「高崎市内で最も歴史のある花火大会です」と高崎市榛名支所産業観光課の坂本雅洋さん。昭和30年代に始まり、約70年続く榛名湖花火大会。

最大の特徴は、水中花火だろう。モーターボートに積んだ尺玉を湖面から投げ込み、水中で開花させる。大きいもので7号。

湖面に半球状の光が広がり、水に映る景色は実に幻想的だ。

「子ども心に、父が菊屋小幡花火店（箕郷町）の先代と一緒に、安全で美しい水中花火の実現を模索していたのを覚えています」と、榛名湖漁業組合長の野口正博さん。

導火線の長さや点火のタイミングを工夫し、湖ならではの演出を確立したという。

モーターボートは湖上を4周しながら、観客に近い場所で花火を開花させる。以前は地元住民が操縦していたが、夜の暗さや霧に覆われた時の安全性を考慮し、現在は訓練を受けた専門の操作者が、決められたルートを正確に走行している。

音と光の迫力

湖上には打ち上げ用の台が設けられ、そこからも花火が打ち上がる。観覧場所との距離が近く、真上に花火が開くような迫力がある。

野口さんは「観客と花火の距離が非常に近く、臨場感は他の大会とは桁違いです」と胸を張る。

榛名湖を囲む外輪山が音響効果を高め、山に反響した破裂音が腹に響く。「ドーン、ドーンという音が直接、体に伝わってきます」と坂本さん。

近年はレーザー光線の演出も導入された。売店の建物から榛名富士に向けて光を照射し、夜空を照らす。レーザーと花火、2つの光の競演はあっと息を飲むほど。

榛名湖漁業協同組合長の野口さん（写真左）と高崎市榛名支所産業観光課の坂本さん

涼しい高原で観覧

榛名湖は標高1084mの高地にある。約1540mの長野県・女神湖で行われる「白樺高原花火大会」に次ぐ、日本有数の高地花火大会だ。真夏でも気温は低く、観覧しやすい。

打ち上げ数は約1500発。大会規模としてはそれほど大きくないが、水中花火や音響効果、湖上の打ち上げなど独自の工夫に根強いファンは多い。

大会当日は湖の南西にある売店街が歩行者天国となり、屋台も出店。多目的グラウンドが臨時駐車場となり、約600台分を確保している。駐車場からはシャトルバスが会場まで運行される。

榛名湖花火大会
日時：8月1日㈮ 20時～21時
会場：榛名湖畔
主催：榛名の祭り実行委員会事務局（榛名観光協会内）
TEL 027・374・5111
※荒天時は8月8日㈮に順延